もっと知りたい！コウノトリ

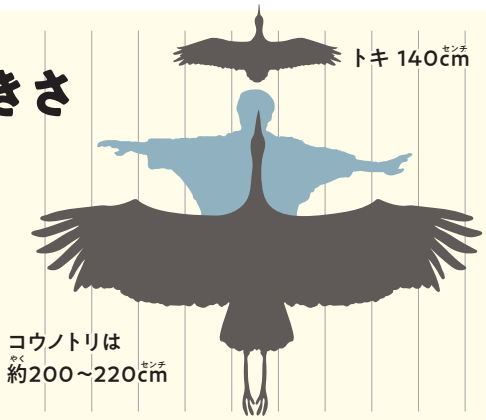


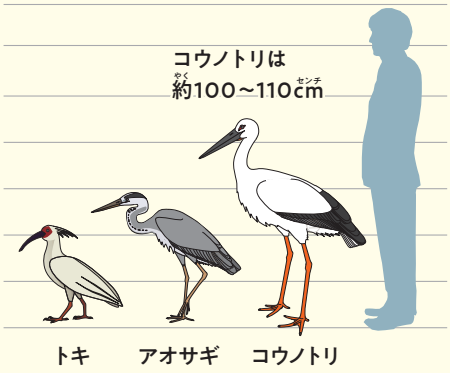
幸せを運ぶコウノトリと
共生するまちづくり
雲南市

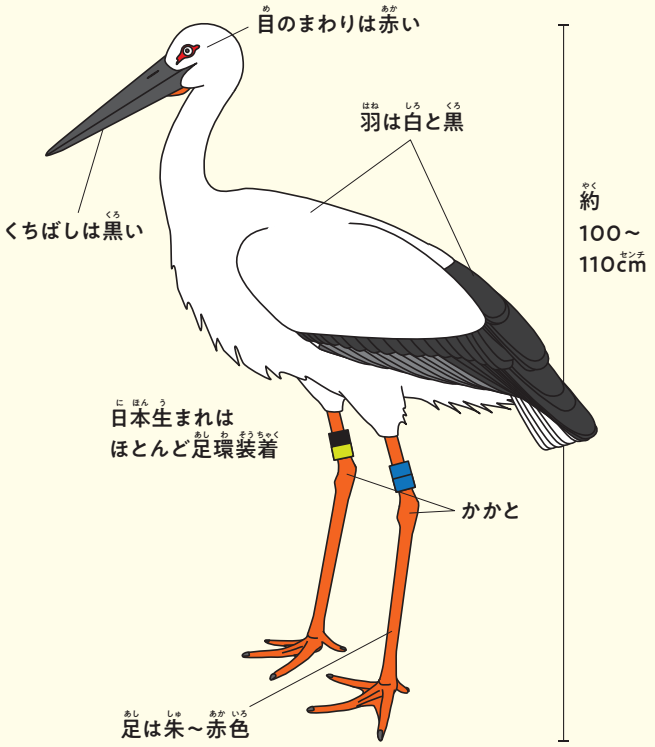
（表紙イラスト：つじいようすけ）

1.〝コウノトリ〟ってどんな鳥？

1 大きさ

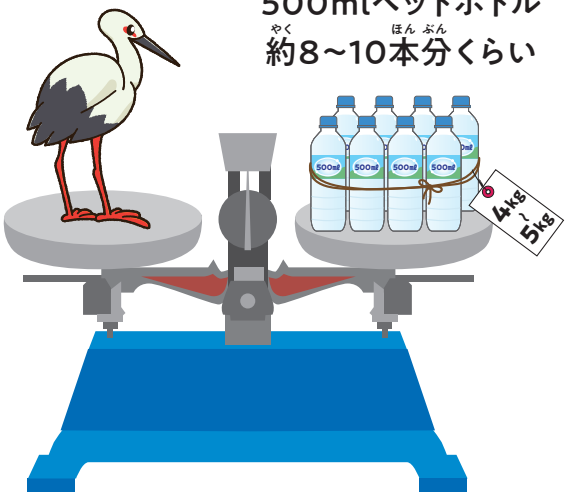






2 重さ

約4～5kg



ちなみに、ほかの鳥の重さは・・・



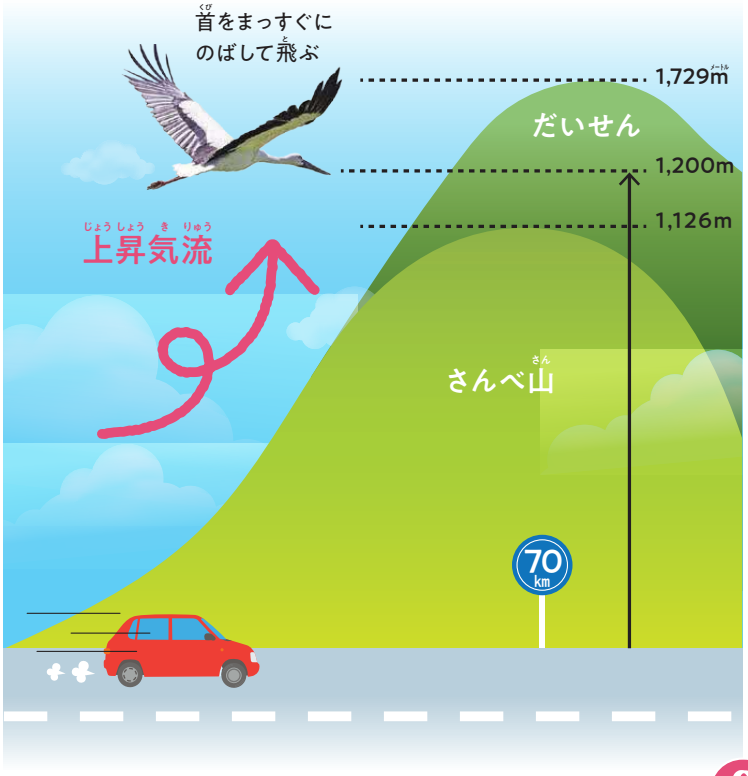
ツバメ....25g

トキ.....2kg



3 飛ぶスピードと高さ

時速 約60～100km



4 飛び方

コウノトリ

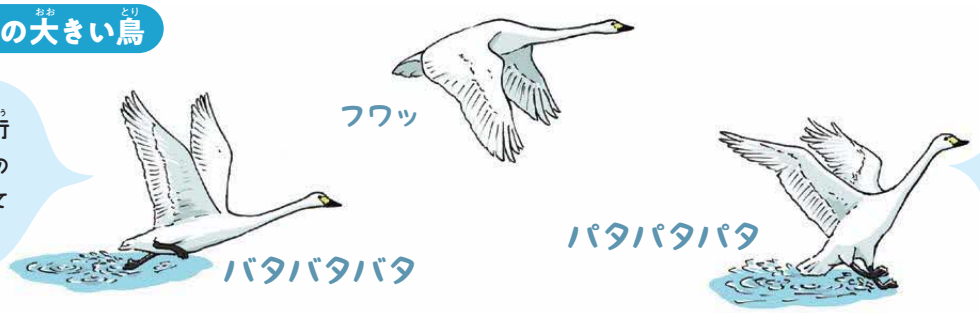


体重は重いけど、同じ大きさの鳥に比べて羽が大きいから、あまり羽ばたかなくてもすっと飛び立つことができるよ。

上昇気流に乗って、体をまっすぐにして、まるでグライダーのように飛ぶよ。あまり羽をパタパタさせなくても大丈夫。

着地も目的地点にすっとおりることができるよ。

ハクチョウなどの大きい鳥



ハクチョウは、飛行機が離陸するときのように、助走をつけて飛び立つよ。

着地する時も、飛行機のように足を使ってスピードを落とすんだよ。

（飛び方イラスト：つじいようすけ）

5 会話



（写真提供：島根県立三瓶自然館）

ヒナのころは声を出せるけど、成長すると鳴けなくなるんだ。
その代わり「クラッタリング」と言って、くちばしをカタカタカタッとうち、音を出して会話するんだよ。



6 えさのとり方・食べ方

3つの方法

❶獲物を直接見て、ねらってつかまえる。
❷口を半開きにして水中をつき、くちばしに当たったえものをとる
❸くちばしを半開きにして水中につっこんだまま左右にふり、くちばしに当たったえものをとる

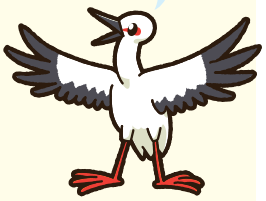


（写真提供：兵庫県立コウノトリの郷公園）



（写真提供：島根県立三瓶自然館サヒメル）

実は、わたしたちエサとりはへたなんです・・・。





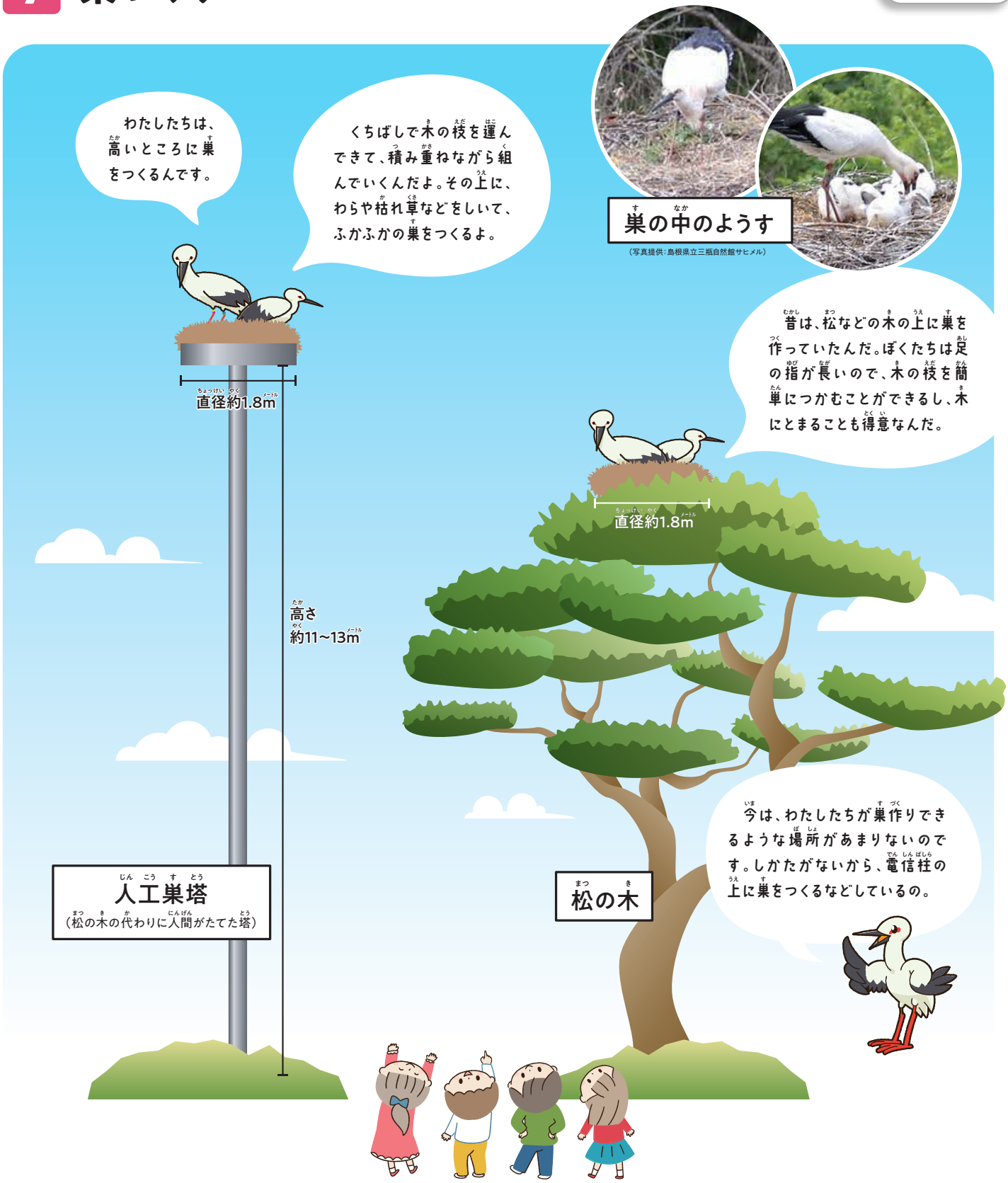




ぼくたちの舌は短いので、捕まえたエサを一度空中にはなして、のどの奥にほうりこむよ。つまり、まるのみするんだ。

（写真提供：兵庫県立コウノトリの郷公園）

7 巣づくり

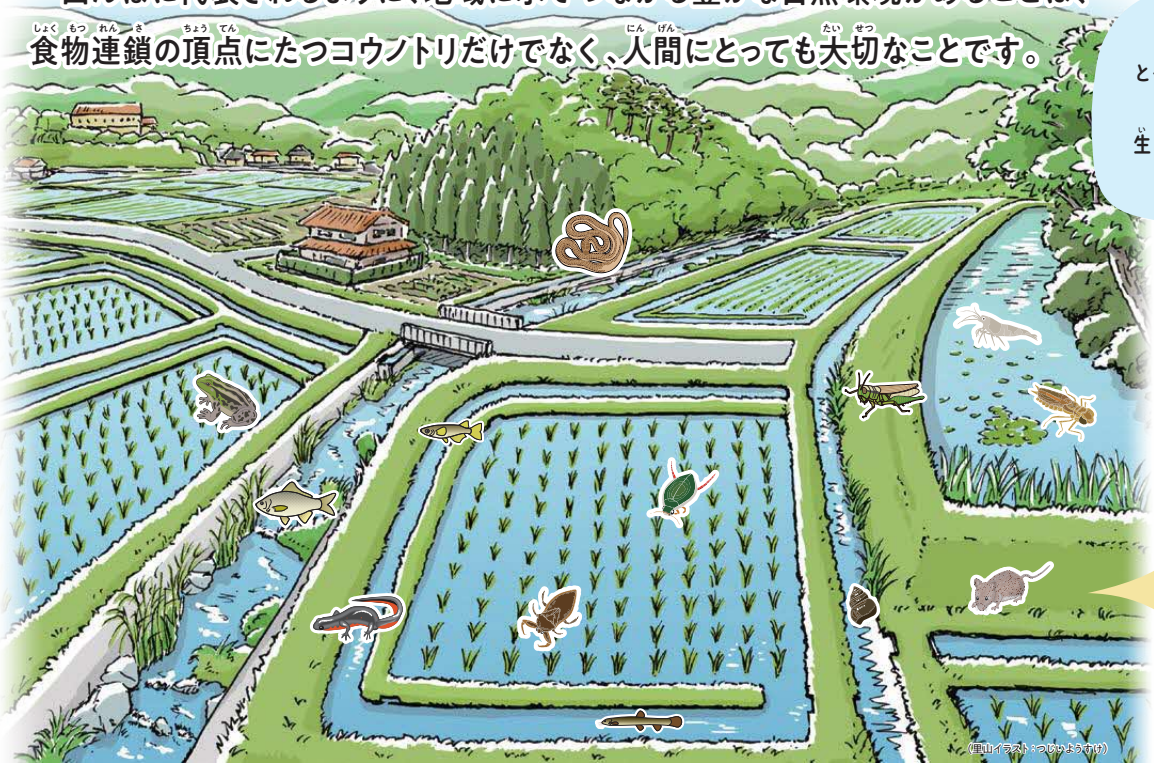


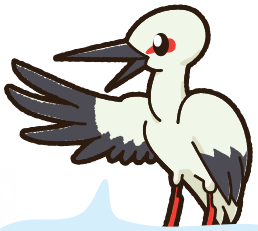
巣作りできる場所がへってきているため、電信柱に巣を作るコウノトリもいます。
しかし、感電や電線にひっかかるなど危険が多くあります。
また、コウノトリの巣作りに適した松の木や人工巣塔があっても、エサや巣材など他の要因が組み合わさってこそコウノトリは子育てができるのです。

8 コウノトリの食べものと豊かな生態系

コウノトリは、カエル、ドジョウ、フナ、バッタ、トカゲ…など、小動物をくちばしでつかまえて食べます。とてもたくさん食べるので、えさとなる生き物の種類や量がより多く生息している豊かな自然環境がなければ暮らしていけません。

田んぼに代表されるように、地域に水でつながる豊かな自然環境があることは、食物連鎖の頂点にたつコウノトリだけでなく、人間にとっても大切なことです。



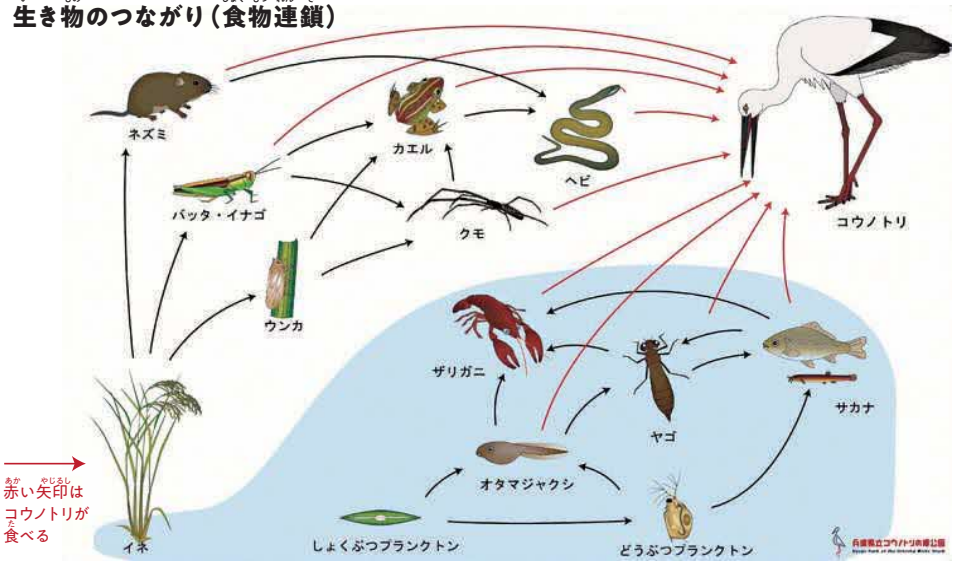


ぼくたちは、体が大きいのでとっても食いしん坊なんだ。1日に約500g（飼育下）の生き物（エサ）が必要なんだよ。アマガエルなら167ひきくらい！

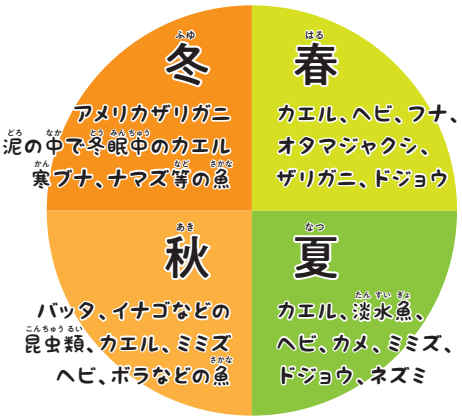


このような豊かな自然環境には、いろいろな種類の生き物がたくさんいるんだよ。生き物が少ないということは、同時にその種類も少ないということなんだ。

生き物のつながり（食物連鎖）



1年間のえさ



西小学校周辺のドジョウを調べてわかったこと

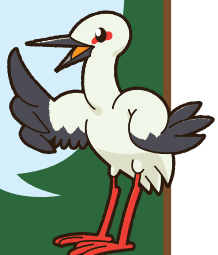
①西小学校周辺のドジョウは、狭いエリアにさまざまな遺伝子タイプがいたよ。

②何百年も前から、この地域に住んで世代交代してきたからだよ。

③1枚の田んぼの中に、豊かな環境が受け継がれてきた証拠なんだ。



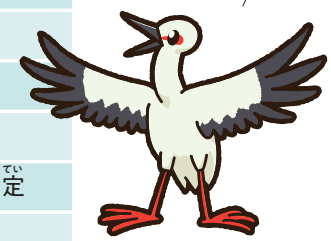
雲南市にやってきた「げんきくん」がよくえさをとっている地域の生き物を雲南市立西小学校の児童が調査してみたよ。その生き物の中で、ドジョウについてわかったことがあるからお知らせするよ。



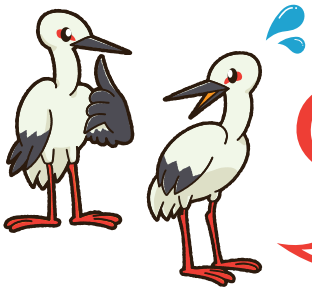
2. コウノトリの絶滅と復活

1 絶滅への道

江戸時代	全国各地にコウノトリが生息していた	＊ツルと呼ばれる
明治時代	乱獲の時代：多くの鳥獣が減少した	
明治25年（1892）	「狩猟規制」がはじまるが、トキやコウノトリは害鳥扱いされていた	
明治37年（1904）	「瑞鳥」ブームとなった	＊日露戦争に勝利
明治41年（1908）	「狩猟法」改正でようやく規制対象になった	
昭和 9年（1934）	コウノトリ約60羽が豊岡に生息するのみとなった	
昭和14年（1939）	営巣木の松が大量に伐採された	＊第2次世界大戦
昭和25年（1950）	「文化財保護法」の対象になった	
昭和31年（1956）	豊岡のコウノトリは23羽に減少した	＊特別天然記念物に指定
昭和40年（1965）	コウノトリは8羽に減少した	＊人工飼育開始
昭和46年（1971）	野生の最後の1羽が保護され、その後死亡した	



※日本国内の野生のコウノトリ絶滅



え～！
わたしたちの仲間はどうしていなくなったの？

（写真提供：豊岡市）



昔のコウノトリのようす





①乱獲

明治のころ、コウノトリは田んぼを大きな足でふみ荒らす迷惑な鳥と考えられて、一般の人にも許可された狩りの対象になりました。近づいても逃げないコウノトリは狙われやすく、数が急激に減ったのです。



②巣づくりの場所の減少

戦争でたくさんのまきが必要となり、樹木の伐採が進んで山が荒れるなど、コウノトリが巣を作ることのできる環境が失われていきました。



③生き物の減少と汚染

戦後、作物の収穫量を効率的に増やすため、農薬を使用するようになりました。その頃の農薬は毒性が強く、多くの生き物が死んでいきました。わずかに生き残っていた生き物をさがさなければならず、コウノトリは弱っていきました。また毒に侵されていた生き物を食べることで、毒がコウノトリの体内にもたまり、ヒナが育たなくなってしまいました。

他にも、生き物が生息できる河川等の減少など、自然環境の変化によって生き物自体が減ったことも要因です。

2 復活への取組



	日本国内	雲南市	野外個体数
昭和40年 (1965)	豊岡市内で1ペアを捕獲		-
昭和60年 (1985)	ロシアから **幼鳥6羽を導入**		-
平成 元年 (1989)	コウノトリ郷公園で人工繁殖に成功 前年には多摩動物公園でも成功		-
平成 4年 (1992)	野生復帰計画スタート		-
平成 14年 (2002)	野生コウノトリが飛来 飼育個体100羽超える		-
平成 17年 (2005)	**試験放鳥** のはじまり		7
平成 19年 (2007)	野外繁殖でヒナ誕生・巣立ち ＊国内では46年ぶり		18
平成20年 (2008)	野外での繁殖が順調　　＊5ペア　ヒナ8羽		27
平成27年 (2015)	千葉、福井でも放鳥		73
平成29年 (2017)	野外個体数が100羽超える	雲南市大東町で **最初の子育てがはじまる** ＊4羽保護 放鳥	118
令和 2年 (2020)	野外個体数が200羽超える		217
令和 4年 (2022)	野外個体数が300羽超える	＊毎年4羽が巣立つ	311
令和 7年 (2025)	野外個体数が500羽超える	雲南市加茂町でも営巣	552
令和 8年 (2026)		雲南市の鳥に「コウノトリ」を指定	

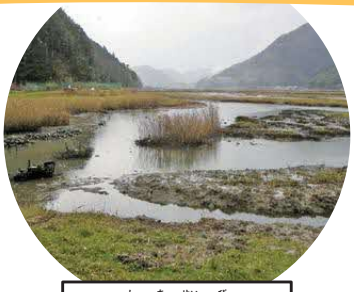
野外個体数は各年度末現在。

コウノトリ復活のために人々が努力してきたこと



水田魚道や退避水路の整備

（写真提供：キコニアまなびネット）



湿地整備

（写真提供：島根県立三瓶自然館サヒメル）



人工飼育と繁殖

（写真提供：兵庫県立コウノトリの郷公園）







放鳥

（写真提供：兵庫県立コウノトリの郷公園）



巣塔設置

（写真提供：キコニアまなびネット）



幸せを運ぶコウノトリと共生するまちづくり
雲南市

3. 雲南市のコウノトリ
「げんきくん」たち10年間の記録
（平成29年～令和8年）



1 げんきくんファミリー





西小巣塔 ←

春殖電柱 ←

- ポンスニ ♀ J0051
- げんきくん ♂ J0118
- ななちゃん ♀ J0047 ×

2021.4.14生まれ（令和3年）
- 西楽（せいら） ♂ J0361
- はなび ♀ J0360
- 栞愛（かんな） ♂ J0359
- 瑞花（ずいか） ♀ J0358

2020.4.18生まれ（令和2年）
- にしき ♀ J0306
- みこと ♀ J0305 ×
- みくも ♀ J0304
- ゆい ♀ J0303

2019.4.8生まれ（平成31年）
- あおば ♀ J0235 ×
- いぶき ♂ J0234
- ほのか ♀ J0233
- れいな ♀ J0231

2018.4.13生まれ（平成30年）
- きらら ♀ J0199
- 永遠（とわ） ♀ J0198
- らいむ ♀ J0197
- はるか ♀ J0196

2017.4.25生まれ（平成29年）
- げんちゃん ♂ J0176 ×
- 姫（ひめ） ♀ J0175
- うらら ♂ J0174
- 春希（はるき） ♂ J0173

4 春殖養賀巣塔

2026.5.3生まれ（令和8年）
- J0409 ♀
- ケンちゃん ♂ J1157
- こはる ♀ J1156
- モナ ♀ J1155
- J0272 ♂

2024.4.7生まれ（令和6年）
- 幸雲（こううん） ♂ J0719
- 希来（きら） ♂ J0718
- かなえ ♂ J0717

2023.4.12生まれ（令和5年）
- 叶彩（のあ） ♀ J0536
- ホープ ♂ J0535
- 美羽（みう） ♀ J0534

2022.4.14生まれ（令和4年）
- 飛貴（ひだか） ♂ J0441
- 八雲（やくも） ♀ J0440
- 志（ふみ） ♂ J0439
- 四輝（しき） ♂ J0438

西小巣塔

2026.3.18生まれ（令和8年）
- 千幸（ちゆき） ♀ J1007
- アヤメ ♂ J1006
- あずま ♀ J1005

2025.3.27生まれ（令和7年）
- 奏（かなで） ♀ J0834
- ピース 不明 J0833
- えすこ 不明 J0832

3 神原巣塔

- 青（あお） ♂ J0293

2026.4.3生まれ（令和8年）
- 天羽（てんば） ♀ J1055
- 幸羽（こうわ） ♂ J1054
- こん ♀ J1053
- たたら ♂ J1052

2025.5.3生まれ（令和7年）
- 神来（しんら） ♂ J0927
- 天音（あまね） ♀ J0926

2 大東交流センター巣塔

- J0354 ♀

2026.4.7生まれ（令和8年）
- 由空（ゆら） ♂ J1051
- 和宝（わほう） ♀ J1050 ×
- ほたる ♂ J1049

- 足環なし ♀

2025.4.16生まれ（令和7年）
- 美空（みく） ♀ J0872
- 海飛（かいと） ♀ J0871
- だいと ♀ J0870

- J0284 ♂

2024.4.29生まれ（令和6年）
- ひまわり ♀ J0782
- のの ♀ J0781
- おおぎ ♀ J0780

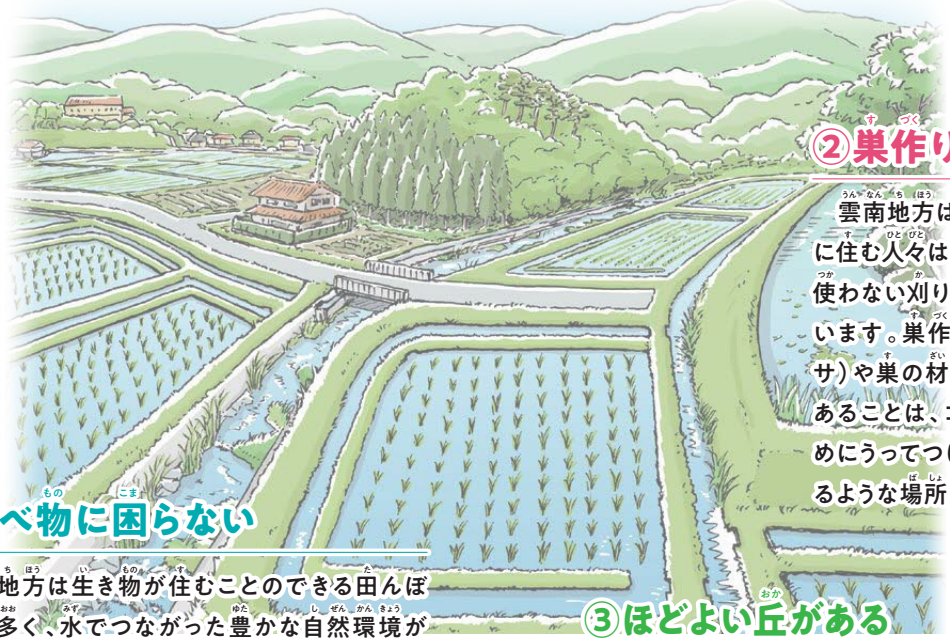
- こっとりちゃん ♀ J0353

雲南市では10年間で合計54羽が巣立ちました。

×…死亡が確認された個体

（このパネルの写真提供：島根県立三瓶自然館サヒメル）

5 コウノトリから見た雲南市の魅力



（里山イラスト：つじいようすけ）

①食べ物に困らない

雲南地方は生き物が住むことのできる田んぼや畑が多く、水でつながった豊かな自然環境が広がっています。また、田んぼのまわりに、“よけじ”とよばれる水路が作られているところが多くあります。山から流れてきた冷たい水が一度“よけじ”に入り、適温になって田んぼへ流れ込みます。このような田んぼづくりの知恵ともいえる“よけじ”がより多くの種類と量の生き物をはぐくんでいます。他にも、生き物が生息できる環境に適した川や水路などが残されています。

食いしん坊のコウノトリにはうってつけの魅力です。

②巣作りの場所と巣材が豊富

雲南地方は豊かな里山が広がっており、地域に住む人々は山の樹木の剪定や整備、除草剤を使わない刈り払い機での除草等に力を尽くしています。巣作りする場所の近くに、生き物（エサ）や巣の材料（枯れ草、枝、わら等）が豊富にあることは、コウノトリが生息し、子育てするためにうってつけの魅力です。しかし、巣作りできるような場所が少ないことはまだ課題です。

③ほどよい丘がある

雲南地方は、ほどよい高さの丘とその間を流れる川や広がる平野で形成される丘陵地帯が点在しています。コウノトリは険しい丘陵地帯を好みません。今、コウノトリがたくさん見られる場所は、コウノトリたちにとってほどよい地形なのです。

コウノトリが降り立ち、生き物（エサ）をとり、子育てをするのに、この地形はうってつけの魅力です。

雲南市でのとりくみ

市内のたくさんの人たちが、コウノトリと共生するまちづくりに取り組んでいます。





（写真提供：キコニアまなびネット）

◀生き物を増やすためのよけじづくり。



（写真提供：雲南市立西小学校）

▲コウノトリがよくエサをとる水田での生き物調査。



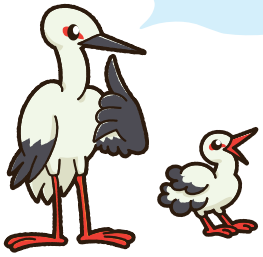
（写真提供：雲南市立西小学校）



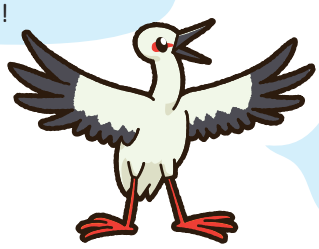
（写真提供：コウノトリの会 春陽）

▲地域の人たちによる耕作放棄地を活用したビオトープ整備。

こんな取り組みもしてくれるんだ～



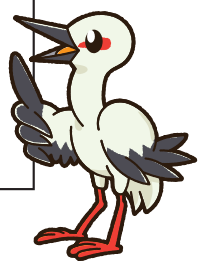
ぼくたちは、ずっとこの町で皆さんとともに暮らしていきたい！



ヒナ1羽を育てるのに、1日約1kgの生き物（エサ）が必要なんだ。ぼくたちが安心して子育てできるように応援してね。

わたしたちからのお願いです。

◎巣やねぐらには近よらないで。
ドキドキしちゃうから。
◎フラッシュはまぶしいので
やめてくださいね。

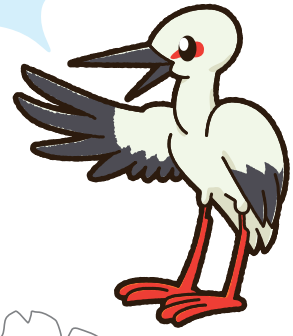


♥人も生き物もみな幸せに♥

4. コウノトリの分布図



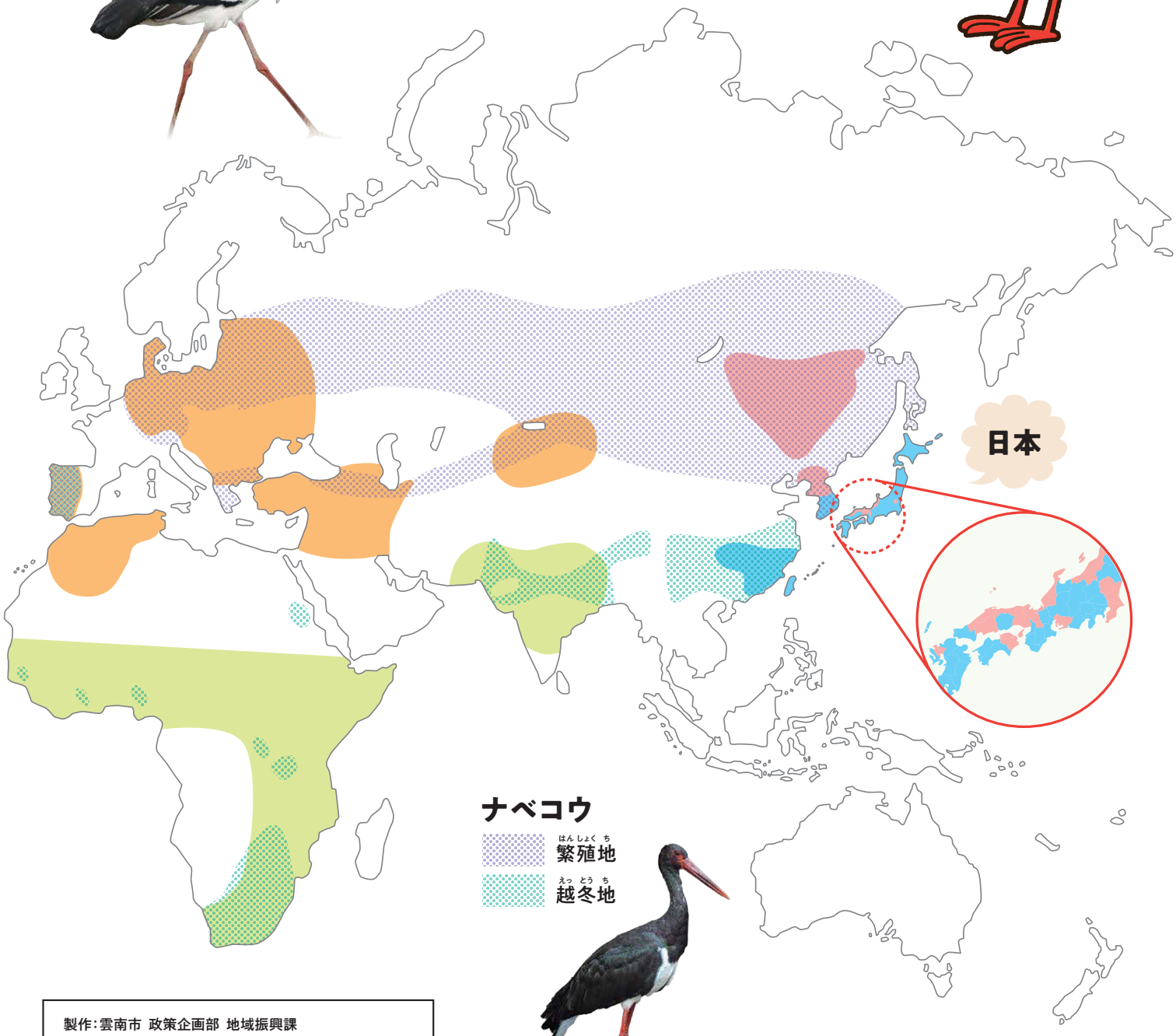
世界中に仲間がいるんだね。でも、どれも数が少ないんだって。



コウノトリ
- 繁殖地
- 越冬地



シュバシコウ
- 繁殖地
- 越冬地



ナベコウ
- 繁殖地
- 越冬地

＊アメリカ大陸では生息確認はありません。

製作：雲南市 政策企画部 地域振興課
執筆・編集：キコニアまなびネット
協力：兵庫県立コウノトリの郷公園・豊岡市
島根県立三瓶自然館サヒメル
雲南市立西小学校
デザイン・イラスト制作：武永印刷株式会社、つじいようすけ
制作：令和4年9月　　改訂：令和8年9月